## 様式2 管理運営状況評価書 【対象年度:平成24年度】 (②福祉施設)

1 施設概要•利用情報 (単位:人、%、円、日)

番号	<del>}</del>	13	施設名	掛川市	大須賀老人福祉ゼ	ンター		担当課名	高齢者支援課		
区分				内容・説明							
	(1)設	设置条例	名		掛川市老人福祉センター条例						
(2)施設設置目的				無料または低額な料金で高齢者に関する各種の相談に応じるとともに高齢者に対して健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便 宜を総合的に供与することを目的とする。							
	(3)施設が有する設備、機能の概要				鉄筋コンクリート造2階建(うち1階部分) 延床面積712.986㎡ 大広間、生活相談室、機能回復訓練室、健康相談室、教養娯楽室、事務室、芝生広場、駐車場						
1	(4)施	<b>西設建</b> 認	<b>发年度</b>		昭和62年						
· 施	(5)耐震性能の有無				あり						
<sub>記</sub> 設 及					雨漏り修繕工事						
び		(6)将来予想される改修経費		トイレ洋式化工事							
指定管理	(想定年度と費用見込み)		空調工事								
理 者											
	(7)指	定管理	者名		社会福祉法人掛川市社会福祉協議会						
				平成23年 4月 1日 から 平成 28年 3月31日 まで							
	(9)施設の管理運営形態			Į.	①指定管理	①指定管理料のみによる運営					
	(10)自主事業の有無 (11)指定事業の有無			□ 実施あり	☑ 実施なし	※実施ありの場合は、収支物	犬況を3ー(3)欄	に記入のこと。			
				□ 実施あり  □ 実施なし     ※実施ありの場合は、収支状況を3ー(3)欄に記入のこと。							
	(12)事業報告書提出の有無				────────────────────────────────────	自法第244条の2第7項による	る提出義務) 担出なし				
	(13)利用者満足度調査等実施の有無			等実施	☑ 実施あり	□ 実施なし	※実施ありの場合、(直近の	実施年度 平成	t 年度)		

区分				H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
	(1)抗	· 施設利用者数		18,993	17,581	19,242		
		大須賀老人福	祉センター	18,993	17,581	19,242		
	施設							
	· 設							
	設備ごと							
	ر ح							
2	(2)₹	家働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
利			A平日昼間					
利用状況			B平日夜間					
江			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
	施設		A平日昼間					
			B平日夜間					
	設備ごと		C土日祝昼間				//	
	ح		D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
2	施設		A平日昼間					
利			B平日夜間					
利用状況	設備ご		C土日祝昼間					
況	( ہے ر		D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3	(1)‡	指定管理者:	名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
管 理	管 (2)利用者一人		<b>áたりの運営経費</b>	253	257	276		
•	(3)	運営日数		241	245	245		
運営状況	(4);	軍営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管
況	(7/2	ェロハ泉	2臨時職員	1.0	1.0	1.0		理施設で働いている実人数を記入してください。

## 2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	3,369,611	3,357,966	4,168,342	6,678,000	
	②印刷費	107,919	59,221	70,954	60,000	
	③通信費	75,253	95,215	92,034	95,000	

	④事務用品、旅費、図書費など	564,697	333,703	266,305	304,000	
(1)運営コスト(A)	⑤借上料	69,174	47,754	403,578	488,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	86,970	75,850	59,190	88,000	
		·				
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	529,196	542,798	249,927	290,000	
	計	4,802,820	4,512,507	5,310,330	8,003,000	
	対前年度増減率		△ 6.0	17.7	50.7	
	区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①管理委託費(外注費)	955,995	955,995	899,760	955,000	
	浄化槽保守点検業務	352,800	352,800	352,800	368,000	
	清掃業務	322,320	322,320	319,110	357,000	
(a)##=₽→フ↓(D)	空調機器保守点検業務	227,850	227,850	227,850	230,000	
(2)施設コスト(B)	ヘルストロン保守点検業務	53,025	53,025			
	区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	②修繕費	522,288	340,431	519,645	280,000	
	③光熱水費	122,795	134,282	145,401	138,000	
	④燃料費	0	0	179,996	294,000	
(の)   佐 = 八 - フ   ( - 1)	⑤清掃費	0	0	0	0	
(2)施設コスト(B)	⑥保守点検費	15,000	15,000	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	0	0	100,189	80,000	
	計	1,616,078	1,445,708	1,844,991	1,747,000	
	対前年度増減率		△ 10.5	27.6	△ 5.3	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	6,418,898	5,958,215	7,155,321	9,750,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	74.8	75.7	74.2	82.1	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	3,180	7,890	5,070		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.1	0.2	0.1		

3 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	3,180	7,890	5,070	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	6,418,898	5,958,215	7,155,321	
収支差額 a)-b)	△ 6,415,718	△ 5,950,325	△ 7,150,251	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( aートータルコスト)	0	0	0	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a) -b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	0	
d) 自主事業の支出	0	0	0	
収支差額 c)-d)	0	0	0	

## 4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
(1) 施設の収支差額の改善について		65歳(市長が特に認めるものにあっては60歳)以上の者及び身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害福祉手帳を所持する者は、無料となっているが、施設の利用に際しては一部利用料金を負担できるように検討が必要。
【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額 を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果た して適正な経営といえるのでしょうか? 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含 めて、施設運営のあり方を考えましょう。		
(2) 利用者数の増加について	が70代~80代となっており、施設のプログ	約45%の人がプログラム及び施設に満足している一方で約20%が普通と回答しているため人気のあるプログラムは維持しつつ、新しいプログラムも導入し満足度を上げ、リピーターを増やす事が必要。また、60代の若年層の囲い込みを行い利用者自体を増加させるためにニーズにあったプログラムの調査を検討することが必要。
【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの 指定管理料が支払われていませんか? より多くの利用者を獲得するために、市として どんな事業展開を考えますか?		
(3) 利用者の満足度向上について 【行革推進係から】	スタッフの対応については75%の方に満足していただいている。施設のトイレが狭い	スローエアロビ教室や囲碁・将棋などゲームを楽しんだり、カラオケや切り絵などの趣味のプログラムが充実しており、体を動かしたり、知的ゲームを楽しみ交流することで介護予防の目的に見合う事業がなされている。施設については、清掃の徹底など環境美化に留意し、引き続き清潔に保っていき、老朽化が満足度の低下にならないようにしていく。
市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか? 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利 用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営を めざしましょう。		

## 5 その他自由意見